

広報

my hometown TOMIOKA 2015

# とみおか

5

No.631

陽春 — 咲き誇る心の花



祝辞を述べる内堀福島県知事(右)と杉戸町の古谷松雄町長(左)

杉戸町、品川区より義援金贈呈  
(写真は品川区の中川原史恵副区長)



## 合併60周年記念 富岡町復興への集い2015 ふるさと富岡の再生を願って

4月11日、今年で3回目となる富岡町復興への集い2015が開催され、県内外から約570人の富岡町民が参加しました。イベントに先がけ、町民の皆さんはバスに乗りし富岡町内へ。富二中通りの桜並木や町内の復興状況を確認した後、会場の広野町中央体育館で久しぶりの再会を喜び合いました。

会場には、内堀雅雄福島県知事を始め、物心両面でご支援をいただいている埼玉県杉戸町の古谷松雄町長、東京都品川区の中川原史恵副区長など多くの来賓も来場。開会セレモニーで、内堀県知事は「この集いをきっかけにして、町民の皆さんが絆をより深め、未来に向かって進んで行ってくれることを願っています」と、富岡町の復興を強く願いながら祝辞を述べました。

アトラクションでは、お笑い芸人の三瓶さんやみちのくボンガーズの母心が会場を盛り上げ、さらに歌手の普天間かおりさんらが登場し、復興応援ソング「桜舞う町で」などを披露。会場に集まった町民の皆さんは、富岡の美しい自然を思い浮かべながら歌声に聞き入っていました。

富岡町復興への集い2015の開催に際し、たくさんの方々の皆様にお越し頂き、心より御礼を申し上げます。さて、東日本大震災と原子力発電所の事故から、五年目を迎えました。この間、長期にわたる避難生活の中で、様々な苦勞をされている町民の皆様から、お見舞いを申し上げます。

現在、町では今後の町復興の羅針盤となる「第二次復興計画」を策定中で、夏までに完成させるつもりです。それぞれの事情により、「帰る」「帰らない」「すぐには帰れないが将来は帰りたい」など、町民の皆さまの様々な思いに寄り添い、インフラ復旧や復興拠点整備を始めとする「ふるさととの復興」と、長い避難生活を送る町民の皆さまの「心の復興」を基本理念として町の復興を推進する計画となっています。私は、この2つの理念を車の両輪としながら、各種施策に全力で取り組んで参ります。



「復興への集い」開催に寄せて  
富岡町長 宮本 皓一

「ふるさととの復興」については、町内復興拠点の早期整備が必要であり、役場機能の一部再開を始め、JR富岡駅から国道6号線周辺の広範囲のエリアを復興の中核拠点と位置づけ、一時帰宅した際の休憩所や商業施設、公設診療所などを整備していきたいと考えております。

一方、「心の復興」については今年富岡町合併60周年の記念すべき年にあたりますので、本日の集いを始め今後も記念式典や交流イベント等を開催し、離ればなれになっていく町民が今一度、「ふるさと富岡」への思いを共感し、町民同士の絆を強めることにより、復興にも弾みをつけていきたいと考えております。

加えて、復興公営住宅の早期整備と供給への働きかけや、今年1月には県外に避難されている方々を支援するための拠点施設をさいたま市に設けて復興支援員を配置したところです。戸別訪問やふるさと富岡の情報発信、交流の場の提供など、県や双葉郡各町村と協力しながら、支援の拡充を図って参りますので、より一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。





石黒美恵子さん(中央)

普段から外に出るようになっていますが、今日は一段と楽しかったです。

誰もいなくなっても咲き続ける富岡の桜は美しく、見ていると涙が出ます。



猪狩和男さん・猪狩保さん兄弟(夜ノ森駅前北)

富岡では兄弟で近所に住んでいたが、現在は離ればなれ。会場で偶然会いました。今日は本当に楽しく、具合が悪いのも吹き飛びました。

# つながる絆 いつまでも変わらず咲き続ける桜のように



南三紀子さん(夜ノ森駅前南)  
早川美智子さん(駅前)

富岡町の仲良しメンバーで参加しました。胸の内を話せる仲です。

懐かしい方にも会えるので、若い方も参加しやすい行事をこれからも続けて欲しいです。



高橋 博子さん(駅前)

初めて参加しました。友人にも久しぶりに会えて、感無量です。

健康に気をつけて過ごし、次回も参加したいです。



# ご入園・ご入学おめでとう

## 三春校の入園・入学式

暖かな春の陽が降り注いだ4月6日、町立富岡幼稚園、富岡第一・第二小学校、富岡第一・第二中学校の入園、入学式が行われ、元気いっぱいの子どもたちが三春校での新学期をスタートさせました。



—あいさつの花  
やさしさの花を咲かせましょう—

富岡町立富岡幼稚園

富岡幼稚園には4人の新しい仲間が加わり、10人での園生活がスタートしました。

式の中で新川美千枝園長が「今年はいよいよあいさつの花とやさしさの花をきれいに咲かせる1年にしましょう」と話すと、子どもたちは園長先生の楽しい話に笑顔を見せながら聞き入っていました。

—夢を持って成長していこう—

富岡町立第一・第二小学校

今年度は、富岡二小に2人の児童が入学しました。優しい上級生に手を引かれて入場した新入生は、緊張の面持ち。

在校生代表の菊池航志君が「全校児童16人と少ない分、学年に関係なくみんな仲がいいです。困ったことがあれば、なんでも聞いてください」と歓迎のことばを述べると、新入生は嬉しそうに笑顔を見せました。



—将来の自分のために—

富岡町立第一・第二中学校

今年度は、富岡一中に4人、富岡二中に6人の生徒が入学しました。

今年4月に着任した、富岡一中の阿部洋己校長が「健康・生活態度・学習習慣は、将来の自分自身のために取り組むことで、より多くの効果があります」と式辞を述べ、新入生にエールを送りました。

新入生代表の原田萌さんが「三春校で学ぶ者として誇りを持ち、新しいことに積極的にチャレンジします」と、これから始まる新しい学校生活に大きな期待をふくらませています。



## —内面から輝く バドミントンのスペシャリストに— 富岡一中ビクトリープログラム生 仮入学式

富岡第一中学校バドミントン部ビクトリープログラム生の仮入学式が、4月3日に同校三春校で行われ、男女8人がトップアスリートを目指しスタートを切りました。

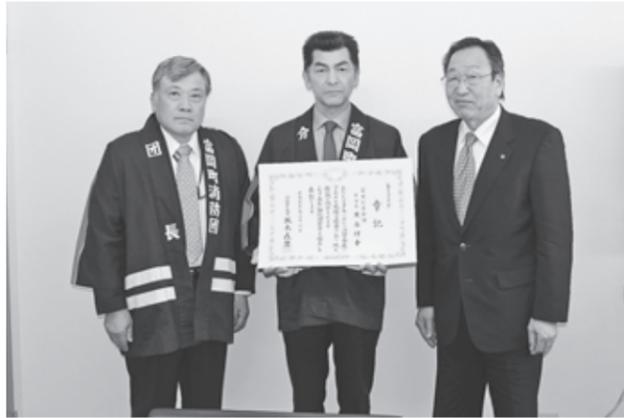
富岡一中を原籍校とする同バドミントン部は、猪苗代中学校に通学しながら、同じく猪苗代町に避難中の富岡高校バドミントン部と共に活動しており、震災という困難の中、全国屈指の強豪校として全国中学校体育大会などの大舞台で素晴らしい成績を残しています。

式では、富岡一中の阿部洋己校長が「皆さんの先輩方も仲間を大切にしながら輝かしい実績を築き上げてきました。己を知り、謙虚な姿勢を持ち、感謝の気持ちを忘れず、そして内面に磨きをかけながら、バドミントンのスペシャリストへの階段を着実に上ってください」と選手を激励。憧れの選手は富岡高校の渡辺勇大選手という稲光翔太郎君が「富岡一中生としての自覚を持ち、夢に向かって元気に明るく練習に励みます」と、新入生を代表して力強く誓いのことばを述べました。



富岡一中ビクトリープログラム生

## 末永博幸さん 消防団永年勤続功労章を受章



宮本町長に受章の報告をされた末永さん(中央)  
左は安藤治 町消防団長

富岡町消防団分団長の末永博幸さん(夜の森駅前北)が、永年勤続功労章を受章されました。

末永さんは、昭和56年5月に町消防団へ入団。長年に渡り地域の防災や安全のために尽力され、現在は「とみおか守り隊」として富岡町内のパトロールを行うなど、精力的に活動を続けています。

末永さんは「震災のため従来の活動ができず残念だが、富岡町消防団の活動が途切れることのないよう団員が集まる機会を増やしていきたいです」と今後の抱負を語られました。

## 平成27年度 新規採用職員をご紹介します



- 富岡町では、平成27年度に11名の職員を新規採用しました。  
4月1日よりそれぞれの担当部署で町民の皆さんと関わりながら、町の復旧・復興に携わっています。
- (後列右から)
- ◇ 総務課秘書広報係副主査 加藤 慶一
  - ◇ 住民課国保年金係主事 緑川 貴浩
  - ◇ 復興推進課除染対策係主任 三瓶 一也
  - ◇ 復旧課復旧係主任 尾崎幸一郎
  - ◇ 復旧課管理係主任 渡辺 修二
  - ◇ 復旧課復旧係主任 佐藤美津浩
- (前列右から)
- ◇ 健康福祉課健康づくり係副主任 有馬和歌子
  - ◇ 健康福祉課健康づくり係副主事 保健師 坂本 将諒
  - ◇ 健康福祉課健康づくり係主事 白岩千代香
  - ◇ 健康福祉課健康づくり係主事 竹野 那緒
  - ◇ 健康福祉課健康づくり係主事 佐藤 南

## いわき市常磐に復興公営住宅が完成



入居者代表と関係者の皆さん

富岡町、大熊町、双葉町、浪江町の町民が入居する、復興公営住宅・湯長谷団地24号棟(いわき市常磐)の鍵引渡し式が3月26日に行われ、入居者や関係者が完成を祝いました。

式では宮本町長が「被災4町住民の新しい生活が始まることは、入居される皆様の生活再建に向けて希望の光が見えたという感無量な思いです。今後も町民の皆様が落ち着いた生活を取り戻すために、復興公営住宅の

情報提供やコミュニティの構築に努めていきます」と祝辞を述べ、大谷誠二いわき建設事務所長から4町の入居者代表にレプリカキーが手渡されました。

湯長谷団地24号棟には、17世帯の富岡町民が入居する予定となっており、代表でキーを受取った豊村睦子さん(夜の森駅前北)は「現在の勤務先にも近く、新たな環境で前向きに過ごしていきたいです」と語られ、これからの生活に期待を寄せていました。



完成した湯長谷団地24号棟

## 町内に仮設焼却施設が完成 4月下旬から本格稼働



富岡町内から出た津波がれきや家屋解体工事の廃棄物、一般の片付けごみなどを焼却するため、環境省が町内仏浜、毛萱両地区に建設していた仮設焼却施設が完成し、3月19日、火入れ式が行われました。

同施設では焼却、灰保管、破碎選別、選別物保管が行われ、1日あたり5百トン进行处理することができ、作業により発生する排ガスは、二段に設置した放射性セシウムの除去装置を通し、監視装置

で安全を確認。また、8台のモニタリングポストを施設の周囲に設置し、厳重な安全対策を講じていきます。

この焼却施設は、国が直轄で管理するものとして最大の規模となっており、今後は可燃物見込み量22万5千トンの処理を行い、終了後は、平成30年3月までに施設の解体が計画されています。



仮設焼却施設内部



# 変わらぬ温かいご支援に感謝いたします 全国の皆さまより義援金をいただきました



宮本町長に義援金を手渡し、  
右から根本照衛さん、渡邊長一さん、豊田直助さん

筑波大学井坂流津軽三味線倶楽部「無絃塾」より、震災後3度目となる義援金をいただきました。

今回の義援金は、2月に開催された無絃塾の卒業公演の際、学生が行った募金活動に寄せられた浄財です。無絃塾から託された豊田直助さん、渡邊長一さん、根本照衛さんが3月11日に富岡町役場郡山事務所を訪れ、宮本町長へ義援金を手渡しました。

## 義援金をいただいた企業・個人名を掲載いたします (平成26年12月～平成27年3月分 順不同・敬称略)

松村勝秀(千葉県) 菊地美博(茨城県) 井川自転車店(東京都) 佐藤史郎(千葉県)  
極東開発工業株式会社特装事業部生産本部横浜工場工場長 細澤幸広(神奈川県) 大井  
よさこいひょうたん祭り実行委員会(神奈川県) 木元久雄(大阪府) 廣川賢二 株式  
会社ニック代表取締役 松浦豊喜(福岡県) 新井里香(埼玉県) 武山輝詔(鳥取県) 有限  
会社アイ・エイチ代表取締役 岩城 均(神奈川県) 前澤化成工業株式会社(東京都)  
浦木誠一(鳥取県) 福岡雙葉中学高等学校(福岡県) 石部運輸倉庫株式会社(滋賀県)  
東京土建一般労働組合調布支部(東京都) 倉瀧真清(鳥取県) 吉田 剛(新潟県)  
どんぐり会(埼玉県) 仙台コカ・コーラボトリング株式会社いわき営業所(いわき市)  
タワーレコード株式会社財務部(東京都) 吉田雄二(東京都) 斎藤秀男(郡山市)  
筑波大学井坂流津軽三味線倶楽部無絃塾(茨城県) 三嶋正之(岡山県) コモリミチシ  
Fight of the Ring 代表 村瀬浩美(東京都)

## 広報とみおか 送付先についてのお知らせ

現在、広報紙が同じ住所にお住まいのご家族へ重複して送付されるケースが発生しております。これは、このほど行われた富岡町避難者管理システムの変更により生じているもので、今後は広報紙発送に係るデータを精査させていただき、送付先や部数の見直しを行ってまいります。

なお、今まで広報紙が届いていたのに届かなくなった、または、広報紙は不要なのに届くようになったなどの方がいらっしゃいましたら、お手数でも下記までご連絡をいただきますようお願いいたします。

☎ 総務課 秘書広報係 ☎ 0120-33-6466



## 白河市と相馬市で、町民同士の絆をつなぐ交流の集い —— しらかわ地域富岡の会が陶芸体験 ——

県南地区に避難されている皆さんのコミュニティサークル「しらかわ地域富岡の会」による陶芸体験教室が、3月25日、白河市のマイタウン白河で行われました。

約30人が参加した今回の教室は、大熊町民が作る「もみの木会」との共同開催で、講師の大堀相馬焼・松永和生さんから手ほどきを受け、カップや皿など世界でたったひとつの作品作りにチャレンジ。お孫さんと参加した遠藤けい子さん(新町)は「最初の頃は知り合いも少なく淋しかったです、今は近くに町民の方がいて心強いです。これからもこういう機会があれば参加してみたいです」と語られました。

陶芸のあとはお茶会が開かれ、参加者の皆さんは近況などを報告し合いながら楽しい時間を過ごし、交流を深めていました。



## 相馬市で「富岡町民 出会いのお茶会」



3月28日、相馬市のアムウェイハウス相馬さとばたけ報徳センターを会場に、「富岡町民 出会いのお茶会」が行われました。

このお茶会は、宮本和之さん(夜の森駅前北)が発起人となり、富岡町社会福祉協議会のバックアップを得て開かれたもので、相馬市や新地町、南相馬市など、浜通り北部に避難されている町民17人が参加。自己紹介や近況報告など、終始和やかな雰囲気の中で会話が弾み、時間を忘れて親睦を深めていました。

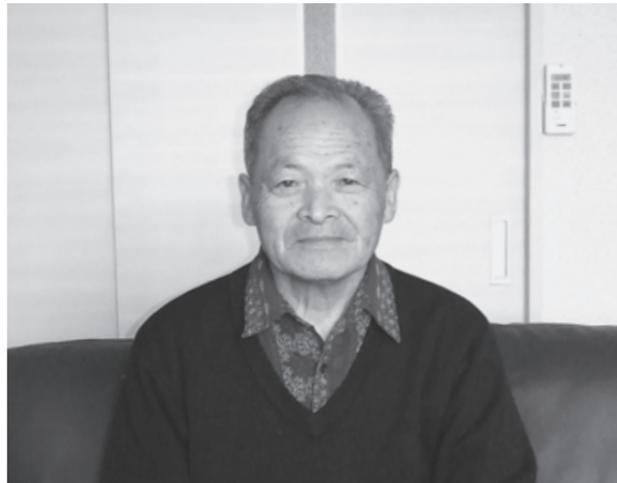
今後も交流会を開催しますので、浜通り北部へ避難されている方で興味がある方は、発起人の宮本さんまでご連絡ください。

〈発起人〉宮本和之 ☎090-8784-3109

# TOMIOKA

## 桜通信

第37号



「大黒舞」で末広がりな故郷に向けて！

いわき地区借上げ住宅自治会「さくら会」副会長、清水行政区副区長を務めている。インターネットで「渡邊長一・富岡町」と検索すると、数百件にもわたり、50年来続けてきた「ある活動」について表示される。

偶然から始まった「鉄道マン人生」

私は高校卒業後、自動車販売会社にセールスエンジニアとして勤務していました。ある日、いわき市内のお客様に新車を納車し、列車で富岡に戻ろうと向かった国鉄平駅（現在のJR

東日本大震災と原発事故により、私たちはふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA（とみおか）桜通信」は、避難生活を続ける皆さんや、富岡町にゆかりのある方々のもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



いわき駅で、偶然改札の駅員から「臨時駅員の募集」について勧誘を受けました。その場は一旦回答を保留して帰宅しましたが、駅員の仕事に何か魅力を感じるのを感じ、また、家族の反対も無かったため、それまでの勤務先を退職し、平駅で働き始めました。その後、職員採用試験を受け正式に国鉄職員となり、国鉄の分割民営化でJR東日本の職員となりました。平成19年2月の定年まで勤め上げ、在職中は主に営業畑を歩き、旅行センターなどに配属され町民号など大型団体企画商品を手掛けることもありました。

偶然テレビで見た「めでたい」こと

16歳の時、テレビで山形大黒舞を目にして「こんなに幸せそうな演舞があるのか」と心を動かされました。そこで、舞を披露していた山形県天童市にある団体を訪ね、大黒舞の基本について教えていただきました。そこで末広がりに「八の字」を描く身のこなしなどの指導を受けました。それをベースに自分なりのアレンジ（扇でも八の字を描くことなど）を加え、町内の催物などで披露してきました。被災後、避難したことや祝い事への自粛ムードなどがあり、知人らから



まちの思い出

舞の依頼があっても引き受けを慎んできましたが、震災から1年が経った頃、「原発事故で失った分の幸せを探そう」と練習を再開し、仮設住宅で行われた「ちっちゃなえびす講市」で被災後初めて大黒舞を披露しました。「よっ、待ってました！」という声と拍手や歓声が拳がった時には、嬉しさがかみ上げると同時に、みんなの前向きに歩いていこうとする勇気を感じさせられました。

豊かだった「懐かしい故郷」

私は平成20年からリフレ富岡の営業担当として働いていました。平成21年から始まったJR東日本の大型観光キャンペーン「うつくしま浜街道」では、富岡町内の散策、漁港で水揚げされる赤目ふぐ、リフレ富岡の温泉や宿泊、春には夜の森の桜を組み合わせた企画を立ち上げ、ようやく軌道に乗り始めた矢先の原発事故となりました。避難により町を離れ、故郷の豊かさがかげがえのないものだったと改めて感じさせられます。しかし、早期の帰還が望めない中、生活拠点をいわき市内に構え、同じ避難者同士や地域の皆さんとの交流を図りながら前向きに日々を送りたいと思います。



まちの思い出

大和田 信成さん (新夜ノ森)  
TOMIOKA 桜(さくら)通信



帰還できる日がきっと来ると信じています

今年4月から下高久仮設住宅の自治会長を務めている。前自治会長から熱心な説得を受け、思い切ってチャレンジしてみることにした。

「目標期間半ば」での避難  
私は榊葉町内でコンビニエンスストア「セブンイレブン 榊葉下小墾店」を運営していました。コンビニエンスストアの多くは、酒屋や雑貨店などからの業態転換によるものですが、私の場合はそうしたことなく、サラリーマンから転身し開業しました。

開業から7年目を迎え、経営目標期間だった15年間の半ばに差し掛かったところでの被災となり休業を余儀なくされました。避難後、他地域での開業、避難区域再編後の再開などを考えましたが、人の確保や私の年齢的な問題などを考えると諦めざるを得ませんでした。

避難後、川内村やビッグパレットふくしまに設営された避難所を経て、平成23年7月、富田町若宮前応急仮設住宅(郡山市)に入居しました。避難所から移るにあたって、借上げ住宅という選択肢もありましたが、やはり地域コミュニティがあつてこそ人間らしい生活が成り立つのではと思っていたため、同じ町民の皆さんが多く、近所付き合いができる仮設住宅を選びました。

同仮設住宅で1年以上生活しましたが、下高久応急仮設住宅が開設され、他の仮設住宅からも転居が可能だったため、早速、応募したところに入居できることになり、平成24年末から生活しています。

下高久応急仮設住宅は富岡と同じ浜通りで海岸にも近く、故郷に似た空気感があります。また、常磐道を利用して手探り状態でしたが、皆さんの助けを借りながら、入居している方一人ひとりの顔を覚えることからスタートしました。

仮設住宅には富岡町内各地区から住民が集まってきており、ほとんどの皆さんが「初めての近所同士」です。そうした中、住民同士が円滑にお付き合いできるようにするため努力しました。

仮設住宅に入居中の昨年4月、復興公営住宅の入居者募集が始まったため応募しました。当初「補欠当選」の状態でしたが、同9月になって入居できることが決まりました。即入居可能でしたが、自治会長の任期もあり今年2月にこちらに移り、この3月の総会で自治会長を交代しました。また、こちらでは、仮設住宅の自治会長だった経験をかわれて入居している1号棟の管理人に任命され、共有部分の管理運営などにあたっています。

退職後、自治会長や管理人など、何かと忙しい日々を送っていますが、単調になりやすい避難生活の中で、私にとつては適度な刺激になっているようです。

遠藤 一廣さん (仲町)  
TOMIOKA 桜(さくら)通信



仮設住宅では自治会長、復興公営住宅では管理人です

元・双葉地方広域市町村圏組合職員として、被災までごみ焼却場の運営にあたっていた。避難後、県外や下高久仮設住宅を経て、現在は復興公営住宅の県営下神白団地に入居している。

被災後は避難生活の支援業務  
私は双葉地方広域市町村圏組合に勤務し、昭和57年に合併前の広域行政法人に入職以来、環境衛生の業務に従事していました。被災当日はいつものように搬入されてきた可燃ご

みを、高い位置にある操作室からクレーンで焼却炉に投入する業務にあつていました。地震発生直後、停電となり発電機を作動させ復旧を図ろうとしましたが、余震が続き安全確保が難しくなつたため、作業を中止して帰宅しました。

被災翌日以降、私たち一家は福島県内各地で車中泊を繰り返しながら、栃木県足利市の親類のもとに向かいました。その後、広域圏組合職員として避難所運営業務にあたることになり、家族を残して私は県内に戻りました。大玉村内の避難所で業務に従事しましたが、仮設住宅や借上げ住宅への入居が開始されたことに伴い、平成23年7月に避難所は閉所されました。本来ならば元の業務に戻るところですが、職務に復帰できる見通しは立たず、何事も無ければ定年まで勤務を全うしたいところを同年8月に退職しました。

退職後、自治会長や管理人など、何かと忙しい日々を送っていますが、単調になりやすい避難生活の中で、私にとつては適度な刺激になっているようです。

退職後、自治会長や管理人など、何かと忙しい日々を送っていますが、単調になりやすい避難生活の中で、私にとつては適度な刺激になっているようです。



妻と二人三脚で仕事にじっくり取り組みます

最初の職業は「自動車製造工」  
私は高校を卒業した昭和38年、自動車製造工として本田技研に入社しました。ホンダは今こそ「世界のホンダ」といわれ主要な自動車メーカーとしての地位を確立していますが、当時は「自動車の時代」が始まりつつあり、ようやく

東京都板橋区出身。富岡町出身の妻と結婚した。結婚後しばらくして妻の実家がある富岡町に移住した。  
被災後、出身地で避難生活を送ったが、事業再開の見通しがついたために、県内に帰還した。



四倉は我が家にとって「新しい故郷」です

榎葉町出身で結婚を機に町内の妻の実家で生活していた。  
原発事故により、一時、県外で避難生活を送っていたこともあるが、出身高校があり友人もいるいわき市四倉町に生活拠点を構えることにした。

出張で不在中に家族は被災  
震災発生当日、私は仕事の研修で東京都内にいました。昼食の時間を挟んで午後の研修が始まり、夕方の研修終了まで折り返しの時間に入ったと思つた頃、建物が揺れ始めました。長く

大きな揺れに、首都圏直下地震や東海地震が起こったと思いました。その後研修先のテレビで東北地方太平洋沖が震源と知り、妻や勤務先に電話しましたが繋がりませんでした。  
同僚と2人で研修を受講し日帰りの予定でしたが、交通機関がマヒ状態だったため、インターネットカフェで一夜を過ごし、同僚は新潟経由で福島県内を目指し、私は群馬県内の親類のもとへ向かいました。一方、妻は子どもや町内の親類らとバスで町を離れ田村高校に身を寄せていました。数日後、群馬県内ではガソリンを確保できなくなったため妻らを迎えに行き、同県伊勢崎市内の親類宅を経て、同市内のアパートで生活しました。  
人の絆と日常生活のありがたさ  
私は勤務先の事業再開に伴い、約1カ月間ほどで県内に戻り、週末ごとに伊勢崎市と往復するようになりました。妻は現地のスーパーマーケットで働き始めました。妻のパート先では私たちを気遣って様々な支援をしてくださいました。福島県内への帰還後お土産をもつて一度ごあいさつに伺いました。  
軽自動車を作り始めたホンダはトラブルが少なく無く、試行錯誤を繰り返していた頃でした。創業者・本田宗一郎氏も第一線で働いており、私が勤務していた埼玉製作所(和光工場)にもしばしば顔を出してはゲキを飛ばしていました。  
新たな興味から今の稼業へ  
ホンダでは、日々技術進歩を繰り返して仕事自体は面白いものでしたが、製造工程が自動化されていく中、人間も機械の一部なのかと思うほどになりました。当時は高度経済成長期で、私が製造に携わっていた乗用車と同様に、トラックなど輸送車両業界の成長も著しくなりました。そうした中、トラックの荷台に使うシートいわゆる「幌」や、自動車内装の加工製作が盛んになっていくのが目に付き、興味を抱くようになりました。そこで5年間勤務したホンダを退職し、幌・内張を扱う会社に転職しました。数年間の修行を兼ねた勤務を経て独立する時期を迎え、経済成長が地方に波及する時代ということもあり、昭和49年、妻の出身地である富岡町に移住し、その翌年に創業しました。  
仕事をすれば何かは生まれる  
避難により仕事を断たれ、しばらく



〒979-0201  
いわき市四倉町芳ノ沢1-6-3  
いわき四倉中核工業団地F-113  
電話(0246)32-2313  
※FAX兼用

また、大玉村に設置された安達太良心急仮設住宅に入居でき、平成23年7月から再び家族一緒の生活になりました。約4カ月ぶりの人間らしい生活にほっとしたことを今でも鮮明に覚えています。  
当面は富岡町外で生活  
大玉村で生活しながら、故郷に近いいわき市内で住居を探し、平成24年2月、同市四倉町内にある現在の借上げ住宅に移りました。私は榎葉町出身ですが、四倉高校を卒業したため、土地勘もあり近所には友人も生活しています。妻はこちらに移ってから福島第二原発構内にある被災前からの勤務先に復職しましたが、子どもたちの世話などを考えると負担が大きいため1年ほどで退職しました。  
避難区域の再編に伴い、自宅には日中の立入りが可能ですが、時間の経過と共に地震による被害が大きくなり、修復できる状況ではありません。また、故郷へ戻りたいという気持ちはありますが、子どもたちの将来について考えると、避難指示の解除の有無に関わらず富岡への帰還を前提とした生活設計は難しいように思います。  
の間、妻と共に私の出身地に身を寄せました。そんな中、富岡町商工会から中小機構による仮設事業所供与の話があり申し込みました。避難後、このまま廃業かと諦めた時期もありましたが、そうした気持ちに光が射したような思いでした。平成24年2月に建物が引き渡され、その後、私たちの住居の確保や仕事に必要な機材などの準備を経て、同年5月から営業を再開しました。  
再開当初、受注の見通しなど不透明な中で不安もありましたが、長年お付き合いいただいているお客様や、同じ工業団地内で避難作業している皆様から様々な声をかけていただき、仕事に繋がらせていただいています。看板を出して仕事をしていれば、何かが生まれると改めて感じさせられる、そんな日々を送ることができています。

# 町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位:マイクロシーベルト/h)  
 ※以前の線量と比較することを目的とし、6ヵ月前の町内線量と除染済みの測定場所を示しました。

No.	測定場所	H27.4.9~10		H26.10.1~3		除染状況
		天気:晴れ~くもり		天気:くもり		
		地上1m	地上1cm	地上1m	地上1cm	
1	下千里消防屯所	0.60	0.56	1.09	0.67	除染済み
2	上千里消防屯所	0.32	0.29	0.46	0.42	除染済み
3	杉内消防屯所	0.60	0.53	0.61	0.57	除染済み
4	第二工業団地入口	2.26	2.45	2.72	0.58	
5	高津戸集会所	1.09	0.94	1.43	0.96	除染済み
6	富岡第二中学校東側	1.32	1.82	1.72	1.95	
7	新夜ノ森集会所	4.55	6.59	4.71	7.42	
8	夜の森公園	2.34	4.61	2.15	5.16	
9	松の前待避所	5.11	12.00	8.02	10.90	
10	小良ヶ浜集会所	3.60	3.35	4.33	4.11	
11	町境(小良ヶ浜地区)	5.06	5.46	5.84	8.45	
12	深谷消防屯所	3.66	3.86	4.46	5.05	
13	富岡町宮野球場	0.76	0.60	0.83	0.69	除染済み
14	観陽亭前	0.79	1.37	0.90	1.70	
15	富岡合同庁舎西側	1.74	2.00	2.22	2.56	
16	富岡養護学校	2.43	5.12	2.73	6.36	
17	老人福祉センター	5.43	8.09	5.42	8.83	
18	夜ノ森駅	4.44	5.20	4.73	5.90	
19	王塚集会所	1.23	1.61	1.38	2.89	除染済み
20	諏訪神社前	0.65	0.60	0.95	0.77	
21	上本町消防屯所	0.83	1.00	2.01	3.72	除染済み
22	上本町集会所	0.54	0.53	1.39	2.52	除染済み
23	リベラルヒルズ入口	1.28	2.26	1.44	3.34	
24	赤木集会所	0.30	0.27	0.42	0.32	除染済み
25	上郡山集会所	0.36	0.34	0.98	2.02	除染済み
26	太田集会所	0.50	0.67	0.58	0.55	除染済み
27	原下消防屯所	0.29	0.24	1.20	1.43	除染済み
28	富岡駅	0.47	1.49	0.63	1.55	
29	清水消防屯所	0.51	0.42	0.56	0.95	除染済み
30	役場	0.76	0.88	0.97	1.13	除染済み
31	浄化センター	0.18	0.18	0.25	0.20	除染済み
32	毛萱集会場	0.18	0.16	0.38	0.36	
33	富岡保育所	0.52	0.46	1.31	1.19	
34	中央児童館	0.73	1.37	1.16	1.95	除染済み
35	栄町駐車場	0.63	0.45	0.73	0.61	
36	岩井戸消防屯所	0.36	0.33	0.38	0.32	除染済み
37	小浜住宅団地内公園前	2.06	3.88	2.50	4.98	
38	双葉環境センター	1.51	1.82	1.80	2.14	
39	NHK電波塔入口(浜街道)	1.64	3.11	2.66	4.20	
40	深谷集会所	1.85	3.26	4.18	4.64	
41	赤坂神社前	4.00	5.00	4.61	7.64	
42	太平洋フリーディング前	7.49	14.00	8.71	20.80	
43	みよし前交差点	8.71	16.60	7.30	11.30	
44	富岡自動車学校前	3.84	10.30	4.51	7.52	
45	リフレ富岡	2.78	3.94	2.78	4.16	
46	東洋育成園前	1.76	3.13	3.04	4.82	
47	富岡インター駐車場	2.27	3.11	2.60	3.56	
48	上手岡児童館	1.51	2.67	1.77	3.21	除染済み
49	下千里ライスセンター前	1.51	3.34	2.05	2.73	
50	館山荘前	2.41	3.56	2.52	3.82	
51	夜の森つつみ公園	3.14	3.52	3.58	4.15	
52	総合運動場東側駐車場	3.26	4.22	3.60	5.95	
53	華の樹前	4.15	5.32	4.21	5.94	
54	宝泉寺前	1.57	2.08	2.39	0.99	
55	国道6号第二原発入口前	0.78	1.30	0.84	1.48	
56	猪狩スタンド前	0.39	0.35	0.41	0.37	除染済み
57	なべや駐車場前	0.63	1.46	0.82	1.83	
58	大東銀行富岡支店前	0.64	0.73	0.91	0.95	
59	富岡漁港	0.37	0.32	0.36	0.36	
60	サンライズイン富岡前	0.32	0.48	0.70	1.22	
61	福島富岡簡易裁判所前	1.34	2.33	1.52	3.10	
62	ヨークベニマル富岡店前	1.11	2.11	1.19	2.89	
63	今村病院前	1.92	4.75	2.62	5.85	
64	福島銀行富岡支店前	1.09	2.50	1.38	3.20	
65	龍台寺前	0.90	2.32	1.20	3.17	
66	清水団地前	1.09	2.30	1.59	3.08	
67	猪狩電気通信工業前	0.90	1.51	1.08	1.00	
68	上郡消防屯所	0.49	0.43	0.99	1.72	除染済み
69	岩井戸鉱泉	0.79	1.27	0.86	1.43	
70	富岡工業団地	0.29	0.43	0.39	0.39	除染済み
71	成沢の滝入口	0.76	1.56	0.91	1.65	
72	沼名子橋	1.43	2.19	1.74	2.53	

測定器: γ線用シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社製)

# とみおか保健だより



## 第4回 「朝ごはんから始める生活習慣づくり」

新年度が始まり、生活環境や生活スタイルが変わった人も多いのではないだろうか。学校を卒業して社会人としての一歩を踏み出したり、退職して自分の時間が持てるようになったりと、様々だと思いませんか。皆さん、そろそろ新しい生活に慣れてきたでしょうか？さて、5月になりました。緊張や頑張り過ぎて疲れがたままり、体調を崩す頃、いわゆる「五月病」になる時期でもあります。そこで、ご自身やご家族の生活習慣を少し見つめてみませんか？

### 朝ごはんを食べていないのは20代

皆さんは朝ごはんを食べていますか？朝は少しでも遅くまで寝ていたい、子どもの学校の準備で忙しいなど、1日のうちで特に慌ただしい時間帯です。食べる時間がない人もいます。朝ごはんを食べない人は、男性12.8%、女性9.8%で20代では食べない人の割合が2~3割と高くなっています。小学校就学前の子どもでは約5%が食べていない状況です。

### 朝ごはんを食べるとはどんな

アメリカで行われた調査によると、朝ごはんを抜くと心臓病になるリスクが高まるという結果でした。朝ごはんを抜くことで、肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症になるリスクが高まります。それが心臓病の発症につながっているのではないかと考えられています。

### ~朝ごはんを食べる習慣をつけるための3ステップ~

#### ステップ1 20~30分早起して、まずは食べる



バナナ1本、おにぎり1個、ヨーグルト1個など、何か朝に食べることから始めてみてはいかがでしょうか。

#### ステップ2 2種類以上の食品を組み合わせてみる



食べ慣れてきて、少し余裕ができたなら、おにぎりとおみそ汁など2種類以上の食品を組み合わせてみましょう。

#### ステップ3 朝ごはんの習慣ができれば栄養バランスを考える



主食・主菜・副菜・汁物をそろえましょう。果物もあるととてもよいです。

また、朝ごはんを食べると次のようなメリットがあるとされています。

- ① エネルギーと栄養素の補給  
寝ている間に使った分と、午前中に使う分のエネルギーや栄養素を補給することができます。
- ② 肥満の予防  
空腹の時間が長くなると、次の食事でドカ食いしやすくなります。1日2食より、3食のほうが太りにくいといわれています。
- ③ エネルギーを消費しやすい体になる  
朝ごはんを食べると、午前中に体温が上昇した状態を続けることができるので、代謝量が増えます。

### 大玉仮設診療所診療日

曜日	診療科目	担当医師
月	休診	
火	休診	
水	休診	
木	内科・外科	井坂 晶
金	内科	堀川章仁





発行／富岡町  
編集／富岡町役場総務課秘書広報係  
〒963-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5  
TEL: 0120-33-6466 FAX: 024-961-3441

富岡町公式ホームページ <http://www.tomioka-town.jp/>  
富岡町公式フェイスブック <http://www.facebook.com/town.tomioka.fukushima>  
Eメールは富岡町公式ホームページの「メールはこちらから」をクリックし、各課あてにお送りください。

## 富岡の子どもたちのためにご尽力 富岡町立小学校・中学校 教職員離任式



3月27日、町立小中学校を退職並びに転出される先生方の離任式が、富岡町役場郡山事務所で行われました。

式では、3月をもって退職された富岡一中の吉田隆見校長が「一園四校それぞれが光り輝くよう、教育の原点に立ち返り、子どもたち一人ひとりを見つめてきました」と挨拶。

これまで、三春校の児童・生徒たちのためにご尽力いただいた先生方。これからも三春校、そして全国の避難先で頑張っている富岡の子どもたちを見守っていただきたいと思います。

## 「平成26年度富岡町少年剣道団卒団式」写真提供 堀川卓之さん(中央)



3月14日、いわき市いいのふれあい館において、平成26年度富岡町少年剣道団の卒団式が行われました。

今回卒団するのは、高木将吾君、原慧士郎君、鵜沼春菜さんの3名。佐藤勉会長が卒団証書を手渡し、「富剣で学んだ、最後までやり遂げる精神を糧とし、様々なことに感謝できる人生を歩んでほしい」とはなむけの言葉を贈りました。

## 「My Photo Letter」に掲載させていただく写真を募集しています

### ◇応募要項

- ・富岡町民で、氏名及び富岡町の行政区名を掲載できる方。
- ・テーマは風景、祭事など自由です。
- ・データの場合はメールに添付できるサイズ、プリント写真は専用の用紙に印刷されたもので、大きさはL版か2L版。
- ・写真のタイトルと説明文(150～200字程度)を添付してください。
- ・応募された写真は返却できませんので、あらかじめご了承ください。

### ◇応募方法

- ・現在お住まいの住所、氏名、富岡町での行政区名、電話番号をご記入の上、データの場合は下記アドレスへメールで、郵送の場合は封書で下記までお送りください。
- ・メールアドレス  
tom0100-005@tomioka-town.jp
- ・住所  
〒963-0201  
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5  
富岡町役場郡山事務所総務課秘書広報係

